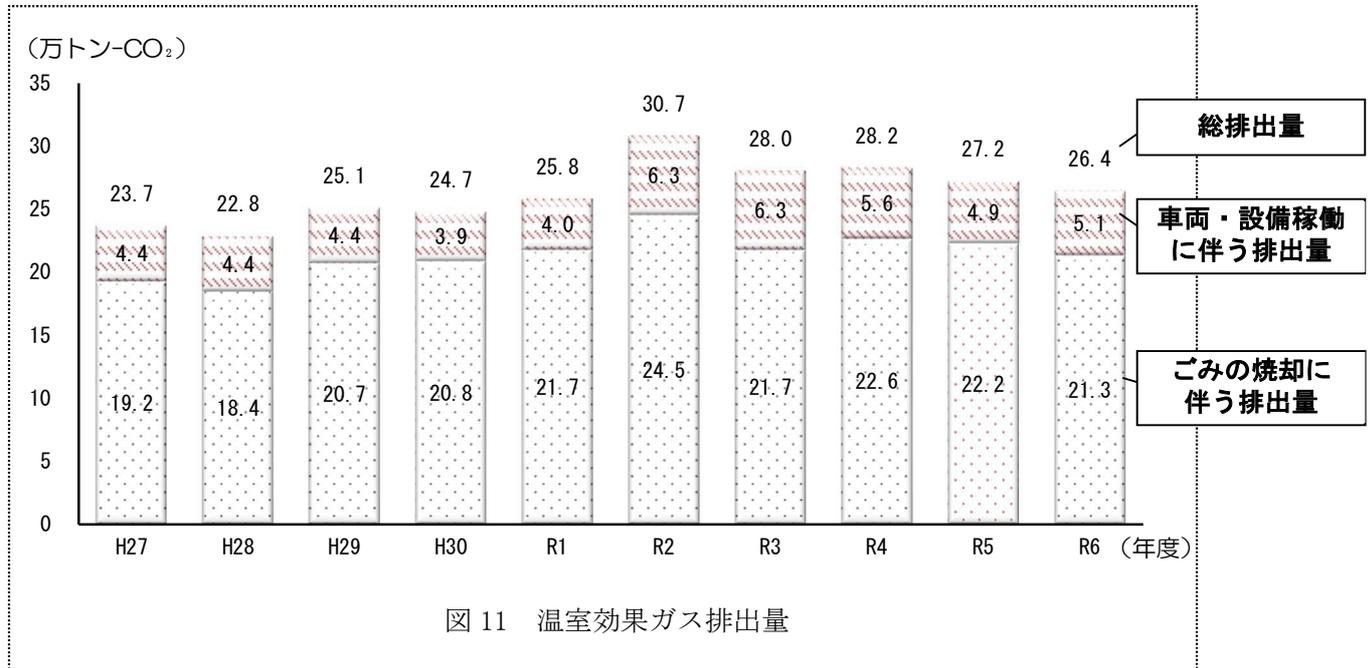


## 第2章 ごみ処理・資源収集等に伴う環境負荷と処理コスト

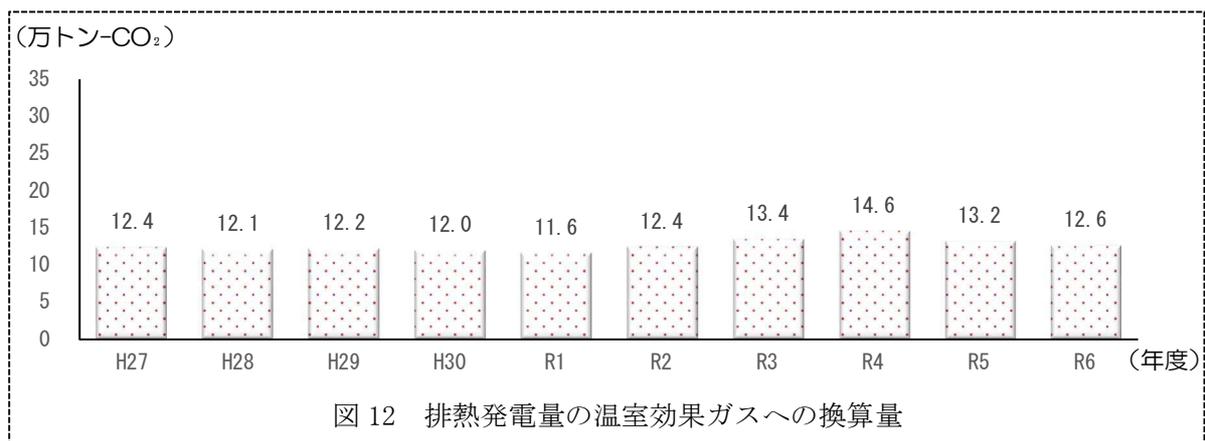
### 1 ごみ処理事業における温室効果ガス排出量等

#### (1) ごみ処理事業における温室効果ガス排出量



ごみ処理事業における温室効果ガスの排出は、ごみの焼却や車両・設備稼働により発生しており、大半がプラスチック類の焼却に伴い発生する二酸化炭素です。

#### (2) 焼却工場における熱エネルギーの有効利用



焼却工場では、ごみを処理するだけでなく、焼却時に発生する熱エネルギーの有効利用により発電しており、この電気は工場内や周辺施設で使用するほか、余剰分は売却しています。

上のグラフは、焼却工場の発電により、電気事業者が発電に伴って排出するはずであった温室効果ガスの抑制に寄与したと考えられる量を表したものです。

図 11 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

## 2 ごみ処理・資源収集等に伴うコスト

### (1) 処理経費の推移

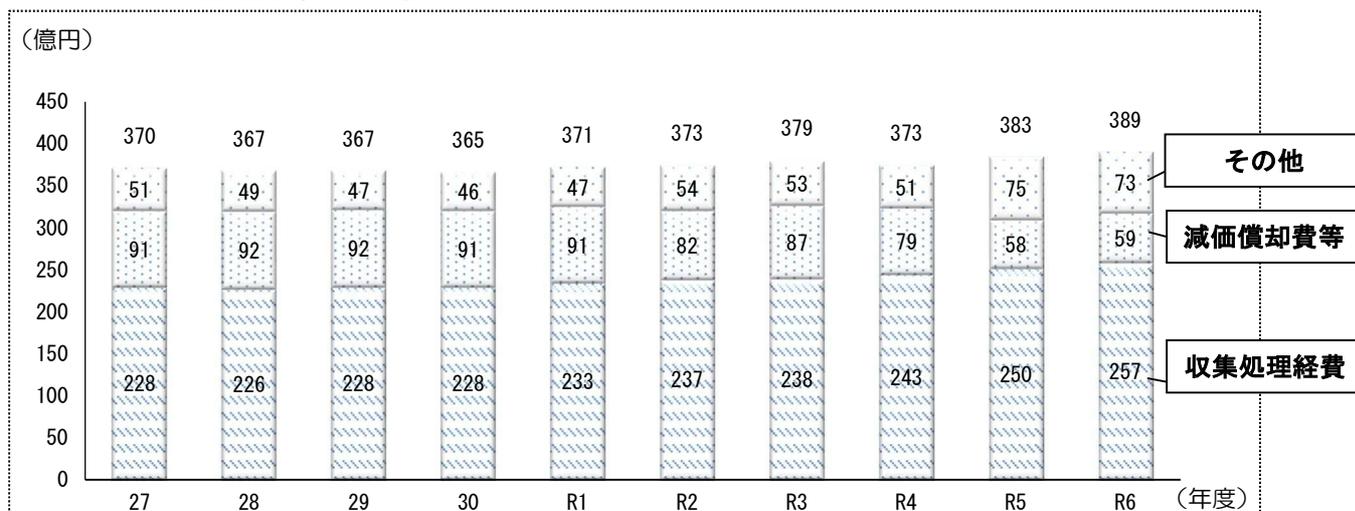
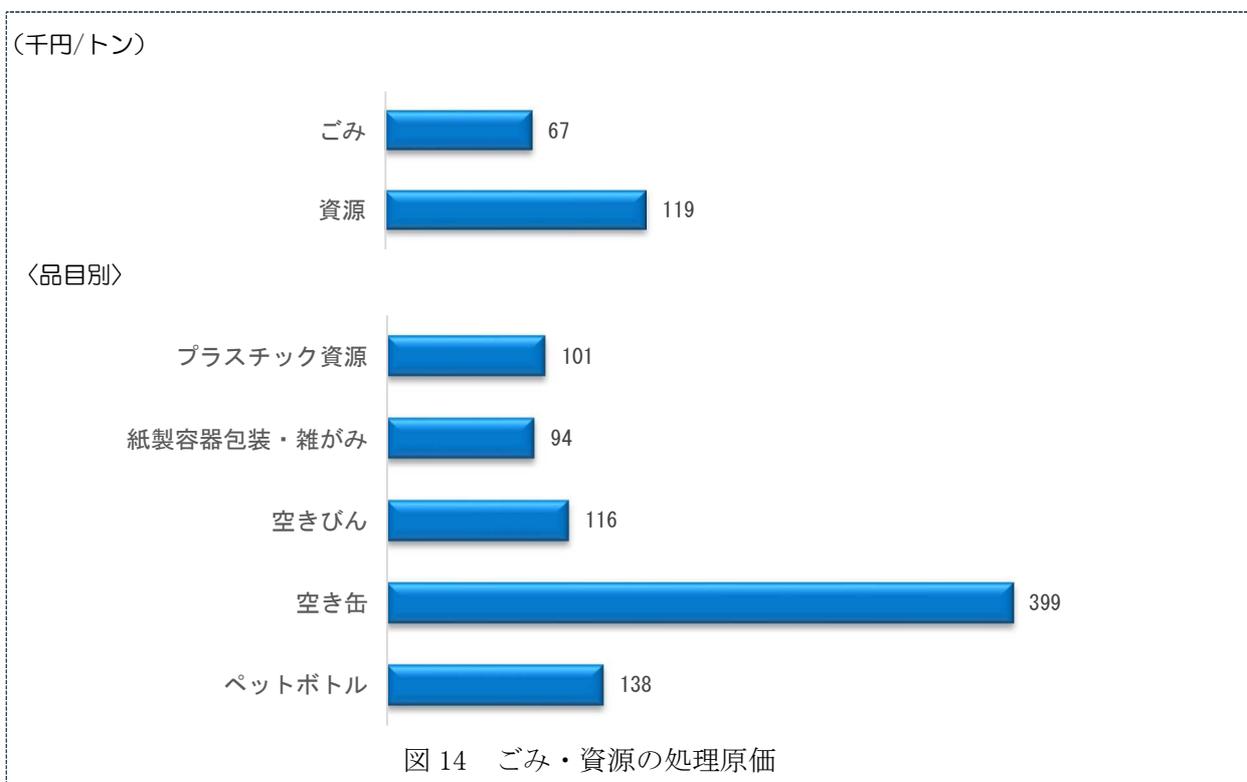


図 13 処理経費の推移

ごみ処理・資源化事業に伴う経費の推移は以上のとおりです。

### (2) ごみ・資源の処理原価（令和6年度）



令和6年度のごみ・資源の処理原価は以上のとおりです。

図 13 ①四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

図 14 ①処理原価とは、1トン当たりの処理経費を算出したもの。

②原価要素として、人件費、物件費、減価償却費、起債利子を算出している。